

■V-1 ころ 親からの自立

エピソード1

東京の学校に合格し4月から一人暮らしをすることになった。起きたら時間ぎりぎり。あと5分で家を出なくてはいけない。今思えば、朝は母ちゃんが起こしてくれたし、ご飯も作ってくれたよなあ。

あっ、ゴミを捨てなくちゃ！ああ、めんどろ。洗ったシャツもしわだらけ。台所には昨日の食器がそのまま。もう間に合わない……。



ワーク1

あなたの自立度チェックをしよう

	いつも	だいたい	たまに	しない
1、いつも起こされなくて起きる				
2、自分のベッドや布団の始末をする				
3、自分の部屋をきれいにする				
4、自分の洗濯は自分です				
5、衣類のコーディネイトやハンカチ等の用意は自分です				
6、衣類は自分でアイロンをかけたり、縫ったりする				
7、靴や服など、脱いだものを片づける				
8、一人のとき、食事は自分で作り、片づけもする				
9、自分の着るものは自分で買いに行く				
10、家族の食事を作る				
11、家族の食事を片づける				
12、ゴミを分別して捨てている				
13、自分の部屋以外の部屋を掃除もする				
14、家族の食糧や日用品の買い物をする				
15、家族に「おはよう」「ありがとう」等のあいさつをする				
16、親にいろいろいわれてもカッとならない				
17、自分の小遣いを何に使ったか分かっている				
18、小遣いが不足しても、親や祖父母にねだったりしない				
19、嫌だと思ってもやらなくてははいけないことはする				
20、みんなと同じではなく自分の意見を通せる				
○の数の合計×点数 いつも 3点、だいたい 2点、たまに1点、しない0点				

50点以上…… 完璧中立型      とても自立している  
 49～35点… 中高生的自立型   中高生としては、一応自立している  
 34～16点… 自己中心型      思っている以上に周囲に依存している  
 15点以下…… マザコン依存型   自立度は小学生以下

(牧野カツコ 「人間と家族を学ぶ家庭科ワークブック」国土社)

気づいたことを書いてみよう。

## 情報コーナー

### 自立とは

自立というのはひとりで生きると受け取られがちであるが、実際には多くの人々に支えられてこそ可能であることを忘れてはいけない。

さらに病気になったり、老いたり、あるいは障がいを持つようになれば、積極的に人の援助を求めそれを受け入れて生きることも大切な自立の能力といえる。



精神的自立



生活的自立



性的自立



社会的・経済的自立



## ワーク2

次の文を読み、自立について考えてみよう。

## Work

### 某高校の授業の中で……

T：親から自立したなぁと感じる時ってどんな時？

A：一人で何でもできるようになったときかな？

B：家にいるから、結局、食事も洗濯もやってもらっちゃう。したくても自立できないよ～。

A：確かに、自立する環境を作らなくては自立できません。

B：じゃ、一人暮らしをするしかないよね。

A：でも、学生の時、親にお金を出してもらっているから、これは完全な自立って言わないんじゃない？

T：一人暮らしをしていなければ自立できないと考えるのはおかしくない？家族で一緒に住みながら、自立はできないのかな？

あなた：じゃあ、自立って……

<続きを考えてみよう>

## 今日の感想



## ■V-2 からだ お母さんになるってどんな感じ？

妊婦体験を通して、妊娠時の重量感・圧迫感・動きにくさなどを体験しましょう。

また、体験をとおして、妊娠することの大変さや周囲の人々が助け合うことの大切さを知り、さらにあなたが生まれてくる時のことや親の思いをイメージしてみましょう。

### ワーク1

妊婦体験の準備をしましょう！

- ① 2人1組になります。(体験者と観察者で協力して行う。)
- ② 体験者が体験ジャケットを腹部に装着させ、観察者が肩のベルトでしっかり固定します。
- ③ 肩から胸部ベルト、腹部ベルト、腰部ベルトの順にしっかり固定します。
- ④ エプロンをかけます

※注意！ 体に密着させないと重みを直ちに感じ、腰痛の原因にもなります。

Work

### ワーク2

やってみましょう！

- ① 立つ・座る
- ② ものを拾う
- ③ 靴下をはく
- ④ 横になり、起き上がる
- ⑤ 歩く、階段を昇り降りする。

危険なので、必ず観察者が付きそいましょう



Work

### ワーク3

ワーク2の感想を話し合ってみましょう。

動作	体験者	観察者
①立つ・座る		
②ものを拾う		
③靴下をはく		
④横になり、起き上がる		
⑤歩く・階段を昇り降りする		

Work

### ワーク4

あなたが生まれてきた時のことについて話し合ってみましょう。

- あなたが生まれた時間 [ 年 月 日 曜日 時 分 ]
- 生まれたときの体重は [ グラム ]

Work

## コラム

### 母子健康手帳って知ってる？



(地域によっては、父子健康手帳も配布されています)  
母子保健法により、各市町村は、妊娠の届け出をした者に対し、母子健康手帳を交付することになっているよ。この母子健康手帳には、妊娠や出産の経過から、小学校入学前までの健康状態、発育、発達、予防接種などの記録が書かれているんだよ。

## ワーク5

あなたが生まれてきた時に、お母さん、お父さんはどんな思いを抱いていたでしょうか。 イメージしたことを話し合ってみましょう。

Work

## ワーク6

あなたが子どもをもつときに、どんなことを思う(願う)でしょうか。

Work

### みたことあるかな？このマーク マタニティーマークだよ！



「席は譲り合って！」



「禁煙に御協力を！」

(厚生労働省ホームページより)

## 今日の感想



## エピソード1

好きな人と結婚して子どもを生み育てたいと思いました。自分の子どもの成長がどのようなものなのか、実感したいと思いました。出産の激痛の中で、最後の一息をいれたところで、子どもの「オギャー」の声。私が愛する娘の誕生です。すぐさまに胸の中で生まれたての子を抱きしめ誓いました。あなたのために私は生きていくと。

10歳の誕生日、二分の一成人式を迎えたとき、生まれてから今日までの出来事を振り返りました。決して楽しいことばかりではありませんでした。むしろ大変なことのほうが多かったかもしれません。でも、あなたが生まれてからここまで成長してくれたことに感謝しました。子育てって、無償の愛だと思えます。あなたがあなたとして生きていくことに、親として誇りと希望を感じます。

20歳の誕生日を迎えるとき、あなたはどのような大人になるのでしょうか。今からとても楽しみです。けれど、この先に訪れる反抗期を私は受け入れられるかを考えると少し不安です。あなたと一緒に私は成長できるでしょうか。

これは、皆さんと同じ年頃の子どもをもつ親からの相談です。

「中学生、高校生の皆さん、時には親とぶつかることも大事、時には感謝することも大事です。皆さんは愛されてこの世に生まれてきました。みなさんが子どもとしてではなく、親として育つことについて少し考えてみませんか？」

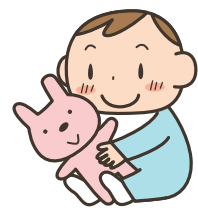
あなたとあなたの愛する人との間に子どもが生まれました。  
あなたの気持ちや願いを考えてみましょう。

## ワーク1

あなたの気持ちは？

どんな子に育ててほしい？

どんな親になりたい？



Work

## エピソード2

トモコは高校2年生。今日は中学の時に仲の良かった友人6人が集まった。久しぶりの再会にみんなでカラオケに行くこととなった。ファミレスで夕食を食べ、カラオケをしながら学校の話、友達のこと、進路のことなど話は尽きることがなかった。

しばらくして、母親からトモコの携帯に電話がかかってきた。「トモコ、今どこにいるの!」「あっ連絡しないでごめん。もうすぐ帰るからね。」「すぐに帰ってきなさい」

しかし、トモコさんが家に帰ったのは午後10時30分ごろでした。お母さんとお父さんはトモコさんが帰宅するのをずっと待っていました。

## ワーク2

それぞれの立場になって考えてみましょう。

## Work

① あなたの親ならどうしたでしょう

② あなたならどうしてほしい?

③ あなたが親だったらどうする?

④ 親の役割にはどんなものがあると思う?



## 今日の感想



エピソード

コウタくんは高校1年生。学校で進路希望調査がありましたが、はっきり言って、将来どんな仕事をしたいのか、どのような働き方をしたいのかはまったく未定です。まして自分にどのような良い所があるのか、何が向いているのかさえわかりません。部活動の先輩は、企業見学やインターンシップに出かけたり、オープンキャンパスに参加したり、将来を見据えて準備を始めています。

「自分で生活していくために、収入って必要だよな。」「でも、働かって収入を得るためだけじゃないよな。」コウタくんはこの機会に、自分の将来について考えてみることにしました。

ワーク1

あなたは将来について考えていますか？  
またどんな働き方をしたいですか？

Work

資料1

フリーター・ニートを  
知っていますか？

フリーターとは

- 15～34歳の男性又は未婚の女性（学生と主婦を除く）で、パート、アルバイトとして働く者又はこれを希望する者のこと。
- やりたい職業が見つかるまでの「モラトリアム型」、正規雇用を志向しながらそれが得られな

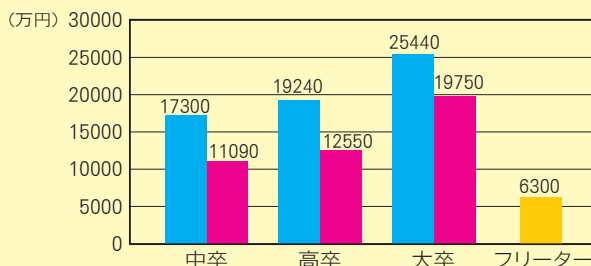
い「やむを得ず型」、明確な目標を持った上で生活の糧を得るための「夢追求型」に分類される。

ニートとは

- 職業も就学もしておらず、職業訓練中でもない人のこと。Not in Employment, Education or Trainingの略
- 統計上は失業者ではないが、実際にフリーターや失業者の立場を体験した人が多い。

資料2

こんなに！！正社員とフリーターの生涯年収の差（退職金・年金は含まない）



(2012)

正社員が生涯にもらう賃金は、少なくとも1億円以上になる。

フリーターの場合は高校卒業から60歳までの42年間働いても平均年収が約150万円なので、42年×150万円で6,300万円程度である。

労働政策研究・研修機構「ユースフル労働統計」(2014)

資料3

資料2以外にも！！  
保障面でも厳しいフリーター

★ 働いた分だけしか収入にならない。  
時間給で働く場合が多いフリーターは、仕事を休んだり辞めたりすると収入がなくなってしまいます。雇用保険も期待できない。



★ 年金がもらえない？  
国民年金のみの支給となり、月額7万円程度（現時点）。もし、保険料を払っていない場合、支給は0円。



★ ケガをしたり病気になったら大変  
健康保険料を支払っていない場合、医療費は全部自己負担となる。かぜの治療でも1万円近くかかる場合がある。有給休暇もないので休むと収入がない。





## ワーク2

資料2、3から考えたことを書きましょう。

Work

## ワーク3

あなたは何のために働きたいですか？ ベスト3を挙げてみましょう。

Work

### ●私の職業観 ベスト3

- 1
- 2
- 3

### キーワード

- 収入
- やりがい
- 安心と安定
- 地位や名誉
- 会社の知名度
- 休暇
- 労働時間
- かっこよさ

## 資料4

### 各職種に必要なものとは？

【出典】実教出版「資料 アクティブ家庭科 2014」

一般事務・経理 などの事務	オペレーターなど の技術的な事務	販売・サービスに かかわる仕事	工業・建設・農水産 などにかかわる仕事	看護師などの保安 にかかわる仕事
記帳能力	体力・視力	社交性	体力・気力	体力・忍耐力
計算能力	忍耐力	行動力	機械に興味	奉仕の精神
協調性		機転	手先が器用	

※ 業種とは産業の種類、つまり会社のやっている事業内容のこと。職種とは、おもに会社の中で社員が行う仕事内容のこと。ただし、同じ職種でも、業種が違えば仕事の内容が大きく異なることがよくあり、仕事の内容は会社しだいといえる。

## ワーク4

自分の長所を探ろう。

Work

他者から見た私の長所	自分の長所・特技

## ワーク5

将来の夢を実現させるために、自分に足りないものはなんですか？また、現在の目標、つきたい力、取得したい検定試験などを具体的に書いてください。

Work

## 今日の感想





エピソード

出産後、仕事に復帰したりカさん、子育てと仕事の両立は思った以上に大変です。夫のカンタさんはよく手伝ってくれますが、モモコちゃんは思いどおりに動いてくれません。出勤時間なのに自分で服を着ると言って聞かなかったり、疲れて帰り夕飯の支度をしようと思えば、絵本を読んでと泣いてみたり。大切な会議がある日に限って熱はだすし、etc……

モモコちゃんへの愛情はたくさんあるけれど、正直いっぱいばいばいです。

あなたのお母さん、お父さんにインタビューをしてみましょう。  
(難しい場合は身近で子育てをしている人に聞いてみましょう)

ワーク1

Work

インタビューに答えてくれた人	
初めて我が子を抱いたときは、どのように思いましたか(理由)	
子どものどんなところがかわいいですか	
子育てをしていてうれしいことは何ですか(複数)	
子育てしていて大変なことは何ですか(複数)	
そんな時は誰に相談しますか	
大変でも、つらくてもがんばれるのはなぜですか	
親になるために必要なこと(もの)は何だと思いますか	
ストレス発散の方法はありますか	

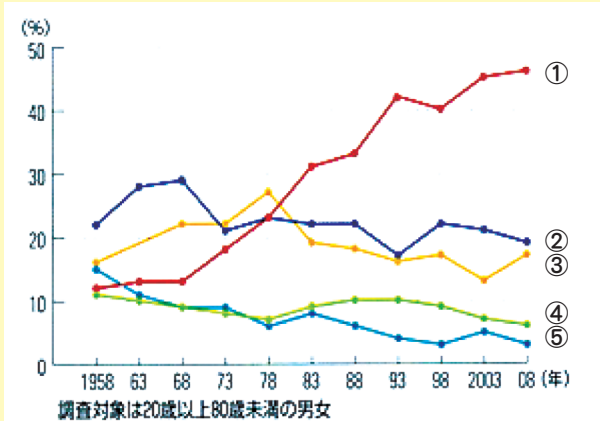
ワーク2

インタビューをしてみて感じたことを書きましょう。

Work

資料1

あなたにとって一番大切なもの



調査対象は20歳以上80歳未満の男女

【出典】教育図書「最新 家庭基礎 生活を科学する」

左の資料の①～⑤にあてはまるものを考えましょう。

ワーク3

- ① ( )
- ② ( )
- ③ ( )
- ④ ( )
- ⑤ ( )

Work



一番大切なものとして「〇〇」という答えが多かったです。その理由を考えましょう。

ワーク4

Work

資料2

「それだけで」



僕の友だちで保育園に務めているひがいて、その子から聞いた話なんです。あるとき、カラダに大きなアザのような跡がある二歳くらいの女の子がいたらしいんです。そういうのって普通だったらイヤなところって捉えがちでしょ。でもその子は友だちに向かって「これはね、わたしのしるしなの」って言ったらしいんです。きっと、その子の親が「これはね、あなたがあなたであるしるしなんだよ」って教えてあげたんでしょうね。その話を聞いたとき、そういうふうには短所だと捉えがちなところも個性だって思えたら素敵だなあって思いました。個性ってウラを返せば長所じゃないですか。だからそういうふうには愛してあげてほしいなと思います。そう思うと、僕も個性だらけの長所のかたまりのような人間です……（苦笑）

326 (ナカムラ ミツル) 著 「いつもみてるよ。がんばってるの、してるよ。」 シンク・ディーより

あなたは将来どのような親になりたいですか？  
資料2を読んで、考えましょう。

ワーク5

Work

今日の感想



## ■V-1 ころ 親からの自立

ねらい

●「自らの自立について振り返り、本当の自立とは何か考える。」

\*グループ活動を取り入れ、考え方を共有する。

時 間	指 導 展 開	準 備
導 入 10分	<p>◆プログラムの趣旨説明</p> <p>○エピソード1を読み、ワーク1の自立度チェックをしながら、気づいたことを記入する。</p> <p>○気づいたことを発表する。してもらおう。《ワーク1》</p>	ワークシート
展 開 10分	<p>◆4つの自立とはどんな分類があるのか、情報コーナーを参考にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神的自立</li> <li>・生活的自立</li> <li>・性的自立</li> <li>・社会的・経済的自立</li> </ul>	自立について、板書を通し、詳しく説明していく。
15分	<p>○ワーク2を読み、某高校生の中で話題になった、本当の自立について、会話の続きを考え、自分なりの自立について考える。</p> <p>○グループになり、自分の考える自立と仲間の考える自立について意見交換をしながら、グループで考える自立についてまとめる。</p> <p>●たくさんのポジティブワードがだせるような雰囲気にする。</p> <p>《ワーク2》</p>	
10分	<p>◆まとめ 発表</p> <p>○発表を通し、仲間の考える自立と自らが考える自立を比較し、自立についてあらためて考える。</p>	
振り返り 5分	<p>◆振り返り</p> <p>○今日の感想をワークシートに記入する。</p> <p>●振り返り用紙に今日の感想を記入してもらい、回収する。</p>	振り返り用紙

○学習者 ●ファシリテーター

## ■V-2 からだ お母さんになるってどんな感じ？

ねらい

- 妊婦体験を通して、妊娠することの大変さや周囲の人々が助け合うことの大切さを知り、さらに自分が生まれてくる時のことや親の思いをイメージすることができる。

時 間	指 導 展 開	準 備
事前の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめ2人1組に分かれておく。</li> <li>・妊婦体験ジャケットの準備（地域の保健センターで借用可）</li> <li>・自分の母子健康手帳持参で参加させるのも良い。</li> </ul>	
導 入 10分	<p>◆本プログラムの趣旨説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●妊婦体験ジャケットの装着方法について実演指導で説明する。</li> </ul>	妊婦体験ジャケット
展 開 45分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2人1組で妊婦体験ジャケットを装着する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>類似体験中に事故がないよう安全面に配慮する。</p> </div> <p style="text-align: right;">《ワーク1》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシートにしたがって、いろいろな動作をやってみる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">《ワーク2》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ワーク2の感想を話し合う。</li> <li>○体験者として、観察者としての感想を出し合う。</li> </ul> <p style="text-align: right;">《ワーク3》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○あなたが生まれてきた時のことについて話し合う。</li> <li>○母子健康手帳について知る。</li> <li>●地域によって父子健康手帳（父親向け育児啓発冊子）があることを説明。</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">甲斐市、中央市、南アルプス市、北杜市など 可能なら1冊用意しておいて見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○持参した母子健康手帳を参考に記入する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>一人親、施設で育つなどいろいろな環境があるので、配慮する</p> </div> <p style="text-align: right;">《ワーク4》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生まれてきたときのお母さん、お父さんの思いをイメージする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">《ワーク5》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもをもつときどんなことを願うか考える。</li> <li>○マークを見ながら周囲の人たちに助けられていることを知る。</li> </ul> <p style="text-align: right;">《ワーク6》</p>	ワークシート
まとめ 5分	<p>◆プログラムの振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今日の感想をワークシートに記入する。</li> <li>●振り返り用紙に今日の感想を記入してもらい、回収する。</li> </ul>	振り返り用紙

○学習者 ●ファシリテーター

**ねらい**

- 親からの気持ちを振り返り、親としてどのように育っていくのか考える  
\*グループ活動を取り入れ、考え方を共有する。

時 間	指 導 展 開	準 備
導 入 10分	<p>◆プログラムの趣旨説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○エピソード1を読み、感想を発表する。 《ワーク1》</li> <li>○親となった時の自分の気持ちは？ どんな子に育ててほしい？などを想像しながら考え、ワークシートに記入する。</li> </ul>	ワークシート
展 開 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どんな親になりたいか、親の立場になって考えてみる。</li> <li>●親について改めて考え、将来親になるかもしれないことを認識させながら進める。</li> </ul>	黒板 ホワイトボード
15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エピソード2を読み、親の立場から考えるアドバイス、トモコ（高校生）からの考えに立ち、自分が親だったらどうするのか、ワークに沿って考えていく。</li> <li>●グループになり、意見を交換しながら、「親の役割」とは何かをまとめる。 《ワーク2》</li> </ul>	個々の活動からグループワークへと発展させる。
10分	<p>◆まとめ 発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○親の役割について発表する。</li> <li>●クラス全体での意見をまとめる。</li> </ul>	黒板に記入し、全体の考えをまとめやすいようにする。
5分	<p>◆振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今日の感想をワークシートに記入する。</li> <li>●振り返り用紙に今日の感想を記入してもらい、回収する。</li> </ul>	振り返り用紙

○学習者 ●ファシリテーター

**ねらい**

●働くことを意識し、現時点での職業観を確立することにより、自分自身のこれからの生活や人生を経済的自立の面から考える。

時 間	指 導 展 開	準 備
導 入 10分	<p>◆本プログラムの趣旨説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○エピソードを読み自分の将来について、現時点で考えていることを書く。 《ワーク1》</li> <li>○率直な感想を発表する。</li> </ul>	ホホワイトボード・黒板など ワークシート 意見のポイント を板書
展 開 35分	<p>◆青年期の課題としての経済的自立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活する上で、経済的自立が重要であることを理解する。</li> </ul> <p>◆青年期の課題として職業観を確立する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○フリーター・ニートとはどういう人かを知る。(資料1)</li> <li>○正社員の違いを賃金や保障面から知る。(資料2、3)</li> <li>●資料2では、学歴でも差があるが、男性よりも女性の賃金が少ないことにもふれる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※雇用保険とは(資料3 働いた分しか収入にならない) 労働者が失業した場合などに必要な給付を行い、労働者の生活及び雇用の安定を図るとともに再就職の援助を行うことなどを目的とした雇用に関する総合的な機能をもった制度。ただし、雇用保険に加入していなければ受給できない。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えをまとめる。 《ワーク2》</li> </ul> <p>◆職業について現在の自分と将来の自分をつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○仕事に対して自分の価値観を探る。 《ワーク3》</li> <li>○代表的な職種に必要な力を知る。(資料4)</li> </ul> <p>◆自分の長所、特技などを客観的に分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グループの人の長所(良い所)を伝え合う。 《ワーク4》</li> <li>●3・4人のグループになり、他の人の長所を1つ以上言うように指示する。</li> <li>○他者からの意見を参考に自分の長所をつかむ。特技も書けるとよい。</li> </ul> <p>◆現在できる努力目標をまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○将来の夢に近づくために、今できることについて具体的に書きだす。 《ワーク5》</li> <li>●働く事を通して、社会貢献をすることが大人の義務であることをおさえる。</li> </ul>	グループ学習
まとめ 5分	<p>◆まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今日の感想をワークシートに記入する。</li> <li>●振り返り用紙に今日の感想を記入してもらい、回収する。</li> </ul> <p>◆発展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○仕事に関する用語を調べる。</li> </ul>	振り返り用紙  インターネット 用語辞典 新聞

○学習者 ●ファシリテーター

- ねらい** ●子育ては楽しいことだけでなく、大変なことの方が多い。しかし、それでも子どもを育てることは素晴らしいことだということを知り、家族の大切さに気づくことができる。

時間	指導展開	準備
導入 7分	◆本プログラムの趣旨説明 ○エピソードを読み、リカさんの気持ちになる。 ●ワーク1(宿題)をやってきたか確認する。	準備 ホワイトボード・黒板など ワークシート
展開 38分	◆お父さん、お母さんの気持ちを知る。 ○ワーク1の内容を発表する。 《ワーク1》 ●子育ては喜びだけではなく、大変なことも多いことをおさえる。 ●つらくてもがんばることができる理由をおさえる。 ●親になるために必要なことをおさえる。  ◆親の気持ちになって考える。 ○インタビューをしてみて感じたことを書く。 《ワーク2》 ●大切に育てられてきたことを実感するとともに、親として子どもを育てることのすばらしさを想像することができるような感想を書けるように声をかける。 ●自分に置き換えて考えることができるように声をかける。 ※3・4人のグループになり、ワーク2の意見を発表しながら、グループの意見としてまとめる。 ○グループの意見を発表する。  ◆資料を読み取る ●日本人が一番大切だと考えるものの第1位が家族であること、子どもが4位に入っていることをおさえる。(資料1)《ワーク3》	意見のポイント を板書        グループ学習  代表者 (時間が無い場合は発表しない)
まとめ 5分	◆ワーク3の答え ① 家族 ② 生命・健康・自分 ③ 愛情・精神 ④ 子ども ⑤ 金・財産  ○なぜ一番大切なものとして、「家族」という答えが多いのか、理由を考える。(自分に置きかえてもよい) 《ワーク4》 ※何人かに理由を発表してもらおう。  ◆将来どのような親になりたいかをまとめる。 ○資料2を読んで、自分の考えをまとめる。(資料2)《ワーク5》	(時間が無い場合は発表しない)
	◆まとめ ○家族の大切さ、親の愛情について考えた授業を振り返る。 ●今まで大切に育てられてきたことを確認するとともに、近い将来、親となり、新たな家族を築いていく意識を持たせる。 ○今日の感想をワークシートに記入する。 ●振り返り用紙に今日の感想を記入してもらい、回収する。	振り返り用紙

○学習者 ●ファシリテーター